

第3学年 理数ゼミ・ESD探究 研究発表会

6月22日(水) 5～7限に「理数ゼミ・ESD探究」研究発表会を実施しました。3年生のESD探究は、下記のように9つの傘に分かれ、各傘10班で構成されています。各班それぞれ班員と協力して、3年間をかけて研究に取り組んできました。

傘2：見る・見せる 傘3：動かす・止める 傘4：影響する・伝える
傘5：聴く・聞こえる 傘6：繋ぐ・支える 傘7：育てる・育む
傘8：分ける・分かつ 傘9：触れる・感じる 傘10：変える・転じる

昨年12月に実施した中間発表会で得た助言などを元に手直しをし、Googleスライドを使用して、今回の最終発表会の研究ポスターを作成しました。自分たちが研究してきた内容をしっかり理解し、原稿を持たずに全員が発表を1人で行いました。実験などに用いた道具や実際の映像などクロームブックを用いて発表するなど工夫をあり、各班中間発表会よりも自信を持って自分たちの研究内容を発表することができました。また、1年生も参加し、説明はもちろんのことたくさんの質問にも丁寧に応え、先輩としての3年生の姿を見せることができたと思います。質疑応答も盛んで、会場全体で研究発表会を盛り上げていたと確信しております。



本年度は、2階・3階・4階のフロアを使い実施しました

理数コースでは昨年度の反省を生かし、10分間の発表時間で発表を行いました。ポスターを指しながら発表を行うだけでなく、研究の際に使用した成果物を実際に見せながら発表を行う班があるなど理数ゼミで行ってきた課題研究のすべてを出し切ることができました。当日は1年生と2年生の理数コースの生徒や先端技術体験講座でお世話になった大学の先生に見に来ていただき、評価していただきました。仮説の検証方法など、高く評価していただいた点もありましたが、試行回数の問題や考察の仕方など、もっとこうすればよかったとアドバイスを頂いた点もあり、生徒達にとっては非常に有意義な時間となった様子でした。

生徒の感想としては、『長い時間をかけて課題研究に取り組んできたが、途中で方針が分からなくなったり、結果が思うようにならないことが多く、研究の難しさを痛感した。発表会では1年以上かけて行ってきた研究内容を10分間という短い時間にまとめつつ、相手に理解してもらわないといけないという非常に難しいものであった。』という内容が多く見られました。

今後は、英語によるポスター発表に向けた準備を行っていきます。今回の日本語発表以上に大変なものになることが予想されますが、生徒達は次に向けて前向きに取り組むことができている様子です。



多くの方に見ていただきました。



ポスターを指しながら発表します